

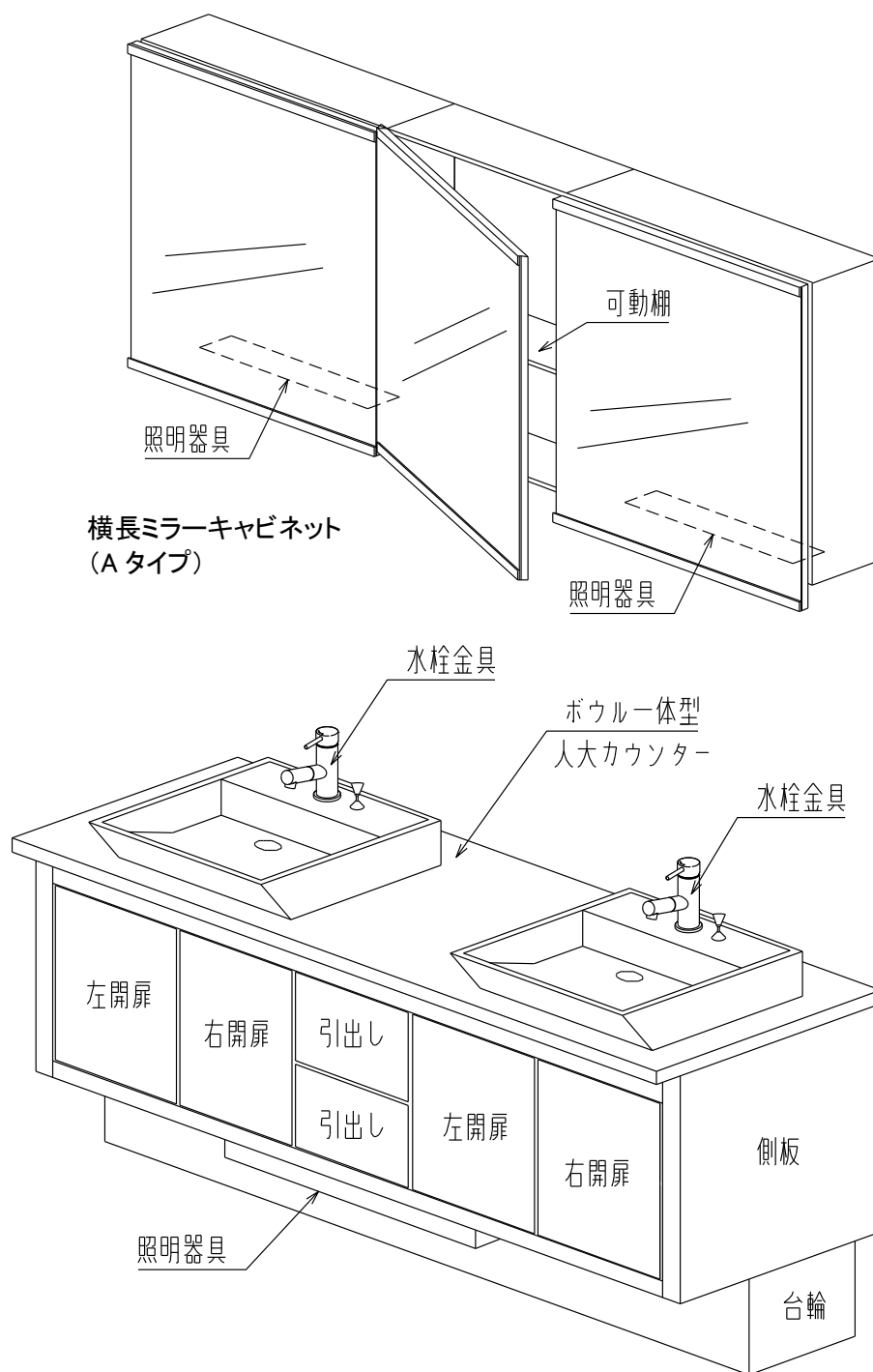
洗面カウンター

N T X

取 扱 説 明 書

この取扱説明書は、みなさまに本商品を正しく、そして末永くご愛用いただくために、注意事項やお手入れ方法につきましてまとめたものです。ご使用前には必ずお読みいただき、その後も手近に保管し、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

■各部のなまえ



※この商品図は代表的なものです。
お客さまのご使用になるものとは
異なる場合があります。

■安全のために必ずお守りください。

この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

注意記号について



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。



してはいけません。



さわってはいけません。



分解してはいけません。



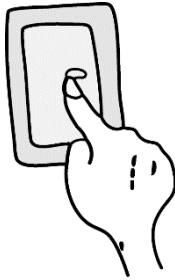
指示通りにしなさい

警告

照明の交換をする場合は必ず
電源スイッチを切ってから行っ
て下さい。



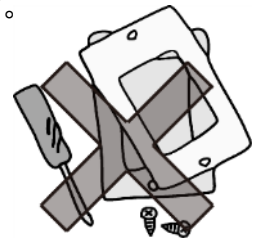
※感電する恐れが
あります。



修理技術者以外の人は絶対に
分解したり、改造は行わない
で下さい。



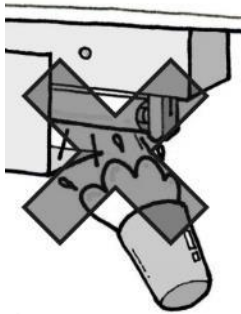
※発火したり、思わぬケガを
することがあります。



照明器具部分に水をかけないで
下さい。
また濡れた手で触らないで下さい。



◆漏電、感電の恐れがあります。

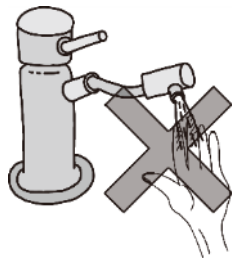


⚠ 注意

お湯をお使いになる前に必ず
手で適温である事を確かめて
ください。



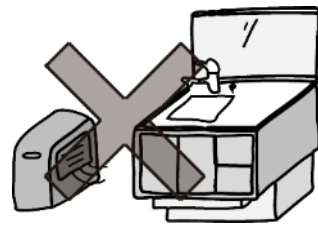
※高温の湯が出てヤケドをする
恐れがあります。



ストーブやヒーター等、熱を発生
するものを近くに置いて使わない
でください。



※変色・変形や火災をおこす
恐れがあります。



お湯を使用しているとき、また
使用直後はキャビネット内の
給湯側の金属部分に直接、
手を触れないようにしてください。



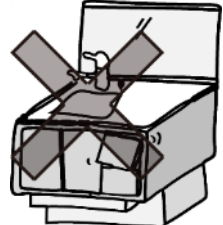
※ヤケドをする恐れ
があります。



カウンター、キャビネット類、
引出しががたついたまま、
あるいは取付けがゆるんだ状態での
ご使用はしないでください。



※物品類の落下、部材
の外れにより、ケガを
する恐れがあります。



カウンターの上に乗ったりしない
で下さい。また、キャビネット等
(引出し)につかまったり
乗ったりしないでください。



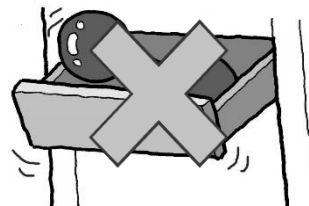
※破損やケガの
恐れがあります。



キャビネット類の引出しに品物を
過剰に入れないでください。



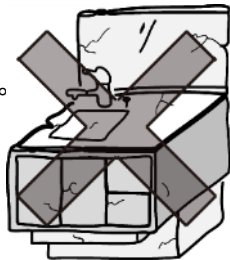
※破損、落下によるケガの恐れが
あります。



⚠ 注意

商品が破損したままでのご使用はしないで下さい。すぐにお取り替えや修理依頼してください。

落下の恐れや
破損部位での
ケガの恐れがあります。



鏡に手をついたりもたれたり、叩いたりしないでください。

※鏡が割れてケガをする恐れがあります。



次のものは使用しないでください。

- ・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
- ・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
- ・クレンザー等の粒子の粗い洗剤

※変色や変形、排水パイプに穴があいて、漏水の恐れがあります。



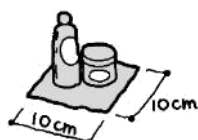
キャビネット類の棚からの収納物の落下にご注意下さい。

※破損、落下によるケガの恐れがあります。



キャビネット類の棚に品物を過剰にのせないでください。

※破損、落下によるケガの恐れがあります。(棚の許容積載質量は0.5kg/10cm²まで)



⚠ 注意

[寒冷地仕様以外の場合]
凍結が予想される際は、水栓
から少量の水を出したままに
してください。

※凍結損傷により漏水し、家財等を濡ら
す財産損害発生の恐れがあります。



[寒冷地仕様の場合]
凍結が予想される際は、配管
の水抜操作と水栓の水抜操作
をしてください。

※凍結損傷により漏水し、家財等を濡ら
す財産損害発生の恐れがあります。

※詳細については水栓金具の取り扱い
説明書をご覧ください。

吐水口を引出して使用される
際は水ハネに十分ご注意
下さい。

※水がキャビネット内に浸入し、
家財等を濡らす財産損害発生の
恐れがあります。

吐水口部引出し口に直接
水をかけないでください。

※水がキャビネット内に浸入し、
家財等を濡らす財産損害発生の
恐れがあります。

■ご使用方法

■故障をおこさないためにお守りください。

洗面器へ急に熱湯を注がず、常温の水をためてから注ぐようにしてください。

※ボウルが破損する恐れがあります。



重いものや硬いものを落とさないでください。

※キズ、ヒビ割れの原因になります。



直射日光が当たる場合は必ずカーテン等でさえぎってください。スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。

※変色や変形の恐れがあります。



化粧品や除光液がついた場合はすばやくふきとってください。

※変色や変形の恐れがあります。(除光液等の溶剤がつきますと跡が残ることがあります。)



ヘアピン、カミソリの刃等を放置しないでください。

※サビが付着して取れなくなる場合があります。



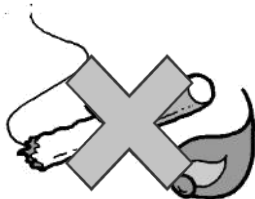
キャビネット本体は水ぶきをしないでください。

※木が水を含み傷む恐れがあります。



火のついたもの(タバコ、マッチ等)を置いたり近づけたりしないでください。

※こげあとがつく恐れがあります。



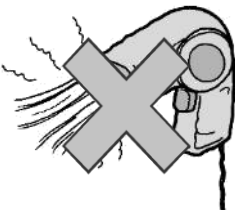
冷水、熱湯等を鏡にかけないでください。

※鏡が破損する恐れがあります。



ヘアードライヤー等の熱風を当てないでください。

※変色や変形をおこす恐れがあります。



引出しの開閉時には引出し前板の中央部分を押してください。



※中央部分を押さないと引出しが開かない場合があります。



排水口の開閉

水栓金具の右横にある引き棒を引き上げると排水栓が上がり、押し下げると下がります。



※水栓金具の取り扱いの詳細については
水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

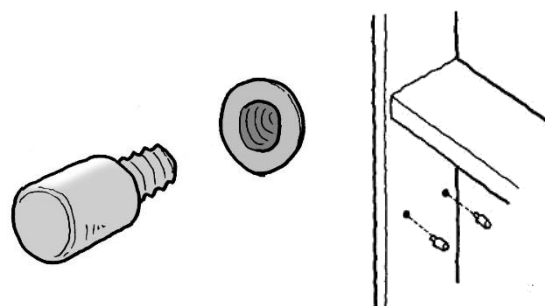
(ミラーキャビネット)棚板の可動方法

ミラーキャビネット内の収納部側面の取付穴に付いている4つの棚ダボを手で取り外し、お好みの高さの取付穴に差し込んでください。

※差し込みが不十分ですと棚板が落下し、
破損やケガの恐れがあります。

棚板裏の4つのくぼみ部が、4つの棚ダボに
合う様に棚板をのせてください。

※棚板がしっかりとってないままご使用
になると、物品や棚板が落下し、
破損やケガの恐れがあります。



吐水口の引出し (吐水口引出しタイプの場合)

水栓金具の吐水口は引き出すことが可能
ですので、ボウルの清掃などにも便利です。



■お手入れ方法

⚠ 警告



照明器具部分に水をかけないで下さい。また、濡れた手で触らないで下さい。
※漏電、感電の恐れがあります。

⚠ 注意



つぎのものは使用しないでください。

- ・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
- ・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
- ・クレンザー等の粒子の粗い洗剤

※変色や変形、排水パイプに穴があいて、漏水の恐れがあります。



⚠ 注意



キャビネットに直接水をかけないでください。

※木質で出来ていますので表面材のはがれや木部変形の原因となります。
水がかかった場合は、すぐにふきとってください。



キャビネット本体

お願い

水ぶきはしないでください。
※木が水を含み傷む恐れがあります。



硬くしぼったぬれふきんで汚れを拭き取ってください。
頑固な汚れには、食器用中性洗剤のうすめた液(100倍程度)を湿らせた布でふいてください。
その後、硬くしぼったぬれふきんでふき取ってください。

カウンター

スポンジか柔らかい布に食器用中性洗剤を含ませ
汚れをふいてください。その後、水ぶきをしてください。
※頑固な汚れや浅いへこみキズはナイロンタワシ
でこすると、効果的です。

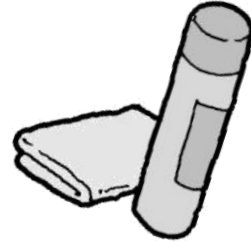


鏡・本体

お願い

冷水、熱湯等を鏡にかけないでください。
※鏡が破損する恐れがあります。

硬くしぼったぬれふきんで汚れを拭き取ってください。
なお、鏡本体の汚れがひどい場合は、ガラスクリーナーを
布につけてふいてください。

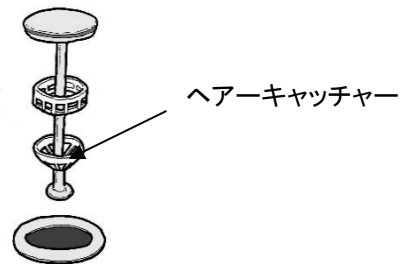


水栓金具

水栓金具の「取扱説明書」をご覧ください。

排水口（ヘアーキャッチャー）

排水栓を上方に引き抜きます。ヘアーキャッチャー部分
に付いているゴミを取り除き、排水栓を元通りはめ込みます。



■メンテナンス

■水栓金具のメンテナンス

水栓金具のメンテナンスに関しては、水栓金具の「取扱説明書」をご覧ください。

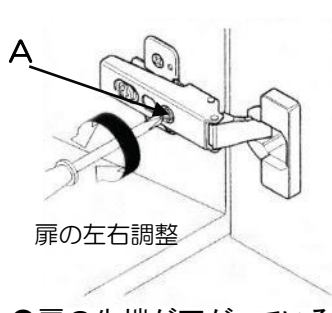
■扉の調整方法

扉の調整

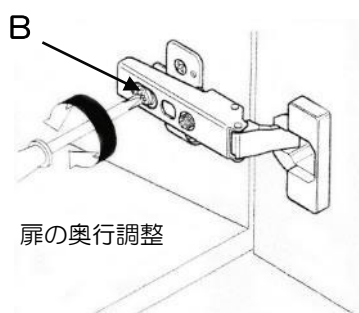
⚠ 注意

調整後は必ず取付けネジが固く締められていることを確認してください。

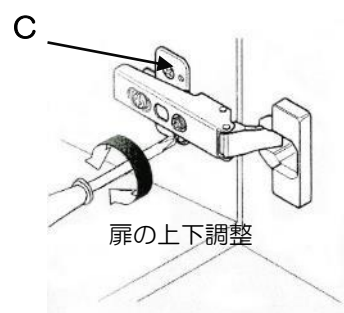
※取付けが不十分ですと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。



扉の左右調整



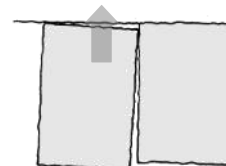
扉の奥行調整



扉の上下調整

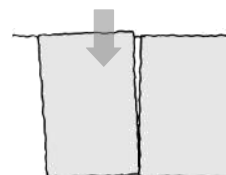
●扉の先端が下がっているとき

- ①扉下方の蝶番のAネジを左へ回して調整します。
または、扉上方の蝶番のAネジを右へ回して調整します。
- ②扉を締めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



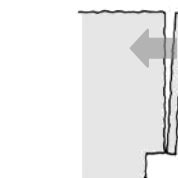
●扉の先端が上がっているとき

- ①扉上方の蝶番のBネジをゆるめ、Aネジを右へ回して調整します。
または、扉下方の蝶番のBネジをゆるめ、Aネジを左へ回して調整します。
- ②扉を締めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



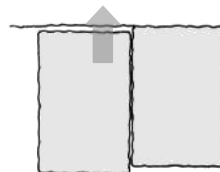
●扉と側板のすき間が上下異なるとき

- ①扉上方の蝶番のBネジを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
- ②正しい位置でBネジを右へ回して締め付けます。



●扉の位置が上下異なるとき

- ①扉上下の蝶番のCネジを左へ回してゆるめ、扉を動かして上下の正しい位置にします。
- ②正しい位置でCネジを右へ回して締め付けます。





警告



修理技術者以外の方は絶対に分解したり、改造は行わないでください。
※漏水したり、思わぬケガをすることがあります。

こちらの商品はすべてにおいてホルムアルデヒド
発散量の最も低い仕様「F☆☆☆☆」を使用しています。
安心してご使用ください。

■製品のホルムアルデヒド発散区分について

製品名称	洗面カウンター NTX	
販売者	株式会社NITTO CERA	
ホルムアルデヒド発散区分	F☆☆☆☆	
ガイドライン	住宅部材表示ガイドラインによる	
製造番号	受注生産対応	
構成材料名称と ホルムアルデヒド発散区分	(建築材料の種別)	(発散区分)
	MDF	F☆☆☆☆
	パーティクルボード	F☆☆☆☆
	合板	F☆☆☆☆
	接着剤	F☆☆☆☆

【注意】 出荷日、オーダーナンバーをご確認の上 お問い合わせください。

株式会社 NITTO CERA

〒479-0837 愛知県常滑市新開町 1 丁目 96
TEL (0569)36-2005
FAX (0569)35-6055

九州事業所

〒849-1322 佐賀県鹿島市浜町字長丁 1112 番地 1
TEL (0954)62-2803
FAX (0954)62-2483